

第13回ビジネス講座

「人間中心の視点でのまちなか再生と交通」

概要

日 時 : 平成31年2月22日(金) 15:00~17:00
会 場 : 横浜第2合同庁舎 1階第1共用会議室
講 師 : 株式会社 日建設計総合研究所 上席研究員
 エリアマネジメントグループ グループマネージャー
 西尾 京介 氏

参加者 : 51名



【セミナー概要】

関東運輸局交通政策部では、2017年10月より「関東運輸局ビジネス講座」と銘打ち、公共交通・物流・バリアフリー等を主なテーマに外部より講師を招いた公開講座を開催しています。

通算13回目となる今回は、2月22日(金)に「人間中心の視点でのまちなか再生と交通」と題し、株式会社 日建設計総合研究所 上席研究員 エリアマネジメントグループ グループマネージャー 西尾 京介 氏にご講演いただきました。

株式会社 日建設計総合研究所 エリアマネジメントグループでは、ポテンシャルは高いものの、低利用な都市の空間資源を発掘し、その場所独自のソリューションを導くことを重点テーマにしています。その中で今回の講師でいらっしゃる西尾氏は、中心市街地活性化やまちなか再生、公共空間の利活用や価値向上をテーマに国や自治体、民間企業等の調査、企画、コンサルティングに従事されています。

講演では、都市の人口密度と自動車利用率及び公共交通利用率との関係性や、市街地面積と人口の推移をグラフで明確に示し、また写真を多用することで、車ではなく、人間中心のまちづくりとはどういうことなのかを感覚的にも分かりやすく説明していただきました。国内・海外の事例も多く紹介していただき、その中でも、商店街を通り過ぎるだけの場所から、居心地の良い空間にすることで滞留時間を延ばすという実験とその効果は大変興味深かったです。今回は情報管理の関係で、残念ながら講座の資料を公開することが出来ませんが、参加者にとっては今後のまちづくりを考える上で大変参考になったのではないかと思います。

【参加者感想】

・各地における事例を通じて、人の動きを中心としたまちづくりを考えることが賑わいを生み出すとい

う、大切なポイントに気づかされました。

- 道路空間と利用者の相関関係の話が新鮮で、そういった切り口から作り方を考えていくことが重要なのだと改めて気づかせて頂きました。
- 日常において交通に関する業務を行っている中で、まちづくりに対しての認識や考え方を今までと違う視点で見ることが出来る講座でした。
- 公共空間の整備について、マトリックスを示されて整理されていることは大変参考になりました。
- 道路の使われ方の分析で、実は歩行者が多いといった結果のお話しが興味深かったです。交通量が多い道路で歩行者も多い場合、どう活用していくのが望ましいか、難しいと感じました。
- 行政だけではできない発想力、価値を創造するという考え方は大変参考になりました
- 私はバス事業者ですが、普段より自治体と協議している中、まちづくりをイメージしながら路線設定やバス待ちスペース（上屋、ベンチ）を提供しています。今回のお話を聞いた中で、人の欲求である「心地よい空間づくり」を、「心地よいバス待ち環境」や「心地よいバス移動」としてイメージしながら業務をしていきたいと思います。